

校長通信②

第2回学校評議員会

年末の押し迫った12月25日に第2回学校評議員会を開催しました。お忙しい中、ほとんどの学校評議員の皆様にご参加いただき、学校の様子を見ていただきました。子どもたちの活動を見ていただくようになって、評議員の皆様からは子どもの姿を通して感じたことをお話しただいており、これらの意見を子どもを中心に置いた学校経営にも活かしていきたいと思えます。

評議員の皆さんの感想です。

- 掲示されている絵を見ても、じっくりゆっくり取り組むことの大切さを感じた
- 療育でも生活に結び付いた経験を大事にしており、小学部の授業の中でも普段の生活につながるような活動になっていると感じた
- 先生方が子どもたちの実態に合わせてICTを活用している。画面の中のサンタが子どもの名前を呼び掛けてくるのは驚いた
- 高等部の作業学習は、一緒にやってみることでどうしてつまづくのかを一緒に考えられるのだと感じた
- 交流などが復活し、地域とのつながりができるようになってきたと感じる



評議員の皆さんの感想から以下の点についても振り返り、来年度の学校経営を考えていきたいと思えます。

- ☆身につくまでに時間がかかるが、一度身についたことは将来にわたっても生きる力になる。特別支援学校の良さである帯の日課、活動時間のゆとりを大切にしているか。
- ☆生活に結び付くような学習になっているのか。学びが子どもたちの生活に活かされるようなものになっているか。
- ☆師弟同行。子どもたちと一緒に活動することで感じることを大切にしているか。

